

## 「金沢大学重点戦略経費政策課題対応型研究推進セミナー」を開催

2012年1月19日

1月19日(木)にがん進展制御研究所棟4階 会議室において、慶應義塾大学医学部・消化器内科 佐藤 俊朗 特任講師を迎え、「腸管上皮幹細胞培養の確立と応用」と題して、金沢大学重点戦略経費政策課題対応型研究推進セミナーを開催しました。

セミナーでは、佐藤先生ご自身の最新の研究成果を示されながら、Lgr5+腸管上皮幹細胞の培養法および腸管上皮幹細胞の移植による炎症性腸疾患の治療研究について、大変興味深いご講演を頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約40名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



# 腸管上皮幹細胞培養の確立と応用

講演者

慶應義塾大学医学部  
消化器内科 特任講師

佐藤 俊朗 先生

日時:平成24年1月19日(木) 16:30~17:30

場所:金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

佐藤俊朗先生は、Dr. Hans Cleversの研究室で腸管上皮幹細胞の培養法を確立し、がん、発生学および幹細胞研究領域の発展に大きく貢献されました。

また、最近ヒトの大腸粘膜生検材料よりEPHB2の発現を指標にしてヒト大腸上皮幹細胞の単離に成功しており、世界をリードする若手研究者の一人です。皆様奮ってご参加、ご討論下さい。

Refs: Sato et al., *Nature*, 2009; *Nature*, 2011; *Gastroenterology*, 2011